

九州関門地方支部 新春旗開き 海の平和と船舶の安全運航を願う

1月14日、下関グランドホテルで「2026年九州関門地方支部旗開き」を開催し、現場組合員と職場委員をはじめ、海事関係者など約150人が出席した。

はじめに松本順一九州関門地方支部長が「船舶の安全運航を願うとともに、皆さまのご健勝・ご活躍を祈念したい」と新年のあいさつを行った。

続いて松浦満晴組合長が「海運業をとりまく課題は山積しているが、後継者確保は、あらゆる産業においても喫緊の課題であり、人材確保競争が激化するなか海と船に興味を持ってもらい船の仕事を知っていただき船員の担い手を増やし、後世に伝え残していくことが大変重要である。海員組合は産業別労働組合として、皆さまと共に一致団結して執行活動にまい進していきたい」とあいさつした。

次に来賓の方々の祝辞をいただき、津田秀士阪九フェリー職場委員が乾杯の音頭をとり、歓談に移った。歓談で楽しい一時を過ごすなか、出席者が毎年楽しみにしている抽選会を始め、会場は歓声に包まれ、笑顔があふれる温かい雰囲気となった。

最後に、住成信九州関門地方支部副支部長が「海運業界を取り巻く課題は山積しているが皆さまと連携・協力しながら活動方針の具現化に向けまい進していく所存。皆さまのご健勝とご活躍を祈念申し上げたい」と締め括りのあいさつを行い、希望に満ちた年になることを願い一本締めで旗開きの幕を下ろした。

「海員だより」